

脱木材、軽量化のニーズに応える
トラック車体向けのウレタン複合パネルを新発売

三菱樹脂株式会社

三菱樹脂株式会社(本社:東京都中央区 社長:吉田 宏)は、内外装用建材として世界で使用されているアルミ樹脂複合板「アルポリック®」のトラック市場への展開として、硬質発泡ウレタンを「アルポリック®」で挟んだウレタン複合パネル「アルポリック®DB」及び「アルポリック®DB ライト」を開発し、2010年1月から販売を開始します。

1974年に販売を開始したアルミ樹脂複合板「アルポリック®」は、ポリエチレン(芯材)の両面にアルミニウム板を貼り合わせて一体化した3層構造の複合板で、軽量かつ剛性、加工性、表面平滑性(意匠性)に優れた建築資材として、世界約130カ国で使用されています。当社は、この「アルポリック®」の用途拡大の一環として、数年前からトラックの架装材料(車体材料)としての営業展開を始めており、軽量で表面の平滑性、衛生性に優れていることが評価され、徐々に採用が広がっています。

新製品は、トラック分野における「アルポリック®」のさらなる事業の拡大を狙い、脱木材と軽量化のニーズに応える新しいパネル素材として開発を進めていたもので、「アルポリック®」を使い、剛性のある低発泡ウレタンを挟んだ「アルポリック®DB」と、軽量で断熱性の高い高発泡ウレタンを挟んだ「アルポリック®DB ライト」の2製品を発売します。

「アルポリック®DB」は、従来の木材(MDF)とアルミを使用した複合パネルに比べて、軽量で、また腐食しないために衛生的で長期間使用することができます。また、低発泡ウレタンを使用しているため剛性にも優れ、いかなる位置にもボルトやネジを打ち込むことができるなど加工も容易です。ボルトなどを多く使用するトラック後部のリアドア(観音扉や跳ね上げ扉)に最適です。なお、厚さは13ミリ~19ミリで提供可能です。

また、「アルポリック®DB ライト」は、ウレタンを高発泡させた厚さ13ミリ以上のパネルで、優れた断熱性を有した木材レスの超軽量パネルとして、断熱性が求められる冷凍車・保冷車や、飲料を輸送するトラック(ベンディングカー)のスライドドア等に最適です。

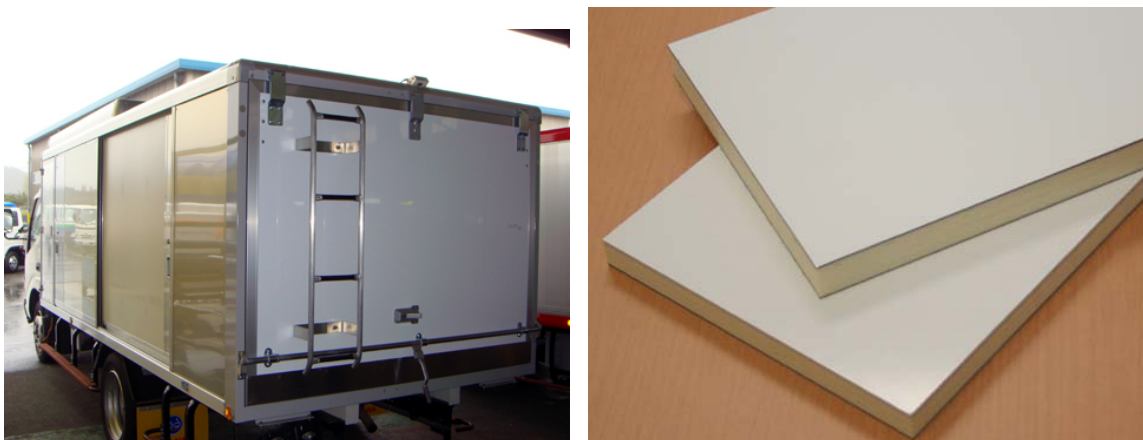
なお、両製品とも、お客様の要望に合わせて、厚さや色調、表面仕上げなどをオーダーメイドで対応します。

新製品は、既に一部のベンディングカーのスライドドア及びリアドアにテスト採用されており、その評価も高いことから、今般、本格販売を開始することとしました。トラック架装メーカーを中心にトラックメーカーや物流会社、荷主となる食品メーカー、飲料メーカーなどへ広くPRし、その販売の拡大に注力してまいります。

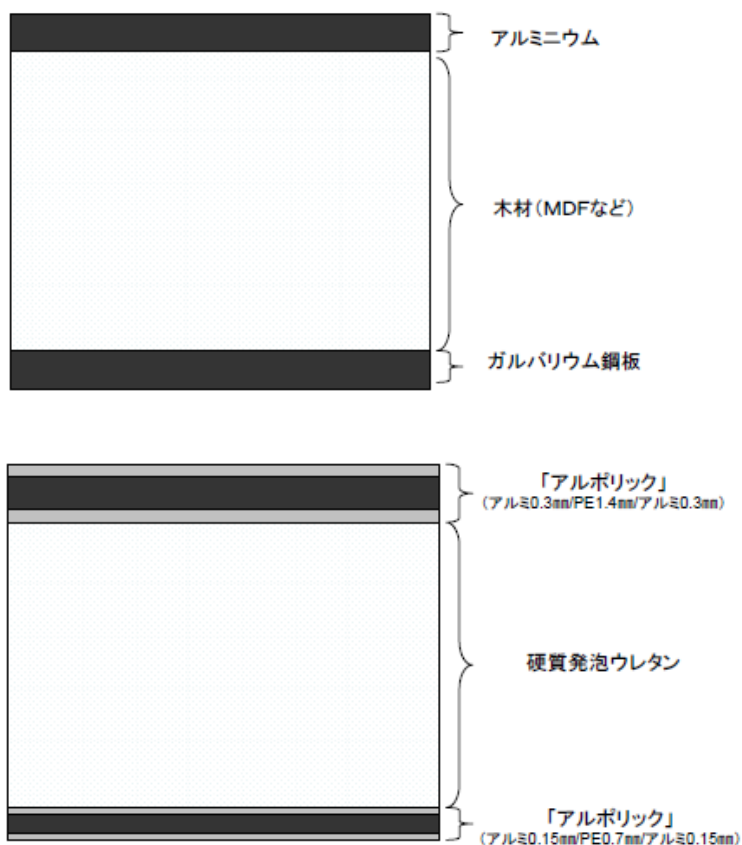
<写真>

左) 試験中のトラック車体(サイドにDBライト18mm、リアにDB13mmを使用)

右) アルポリック®DBライトとアルポリック®DB



<従来品(上)とアルポリック®DB(下)の構成図> ※従来品の構成は代表的な構成例です



<本件に関する報道関係のお問合せ先>

三菱樹脂株式会社 総務部広報室

TEL:03-3279-3800